

2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

2021年11月10日

FRAC**T**ALE

CONNECT WITH EACH OTHER

人とつながり、世の中に広がるサービスを。

I. FRACTALE株式会社 会社概要	p2
II. 2022年3月期2Q 決算概要	p4
III. サイトリ社の事業進捗	p8
IV. リアルアセット事業の進捗	p14

I . FRACTALE株式会社 会社概要

会社概要

所在地	東京都千代田区霞が関三丁目5番1号 近鉄霞が関ビル4階
代表者	代表取締役社長 堀江聡寧
設立	2004年10月
主な子会社	サイトリ・セラピューティクス株式会社（再生医療） ホテル金沢株式会社（ホテル） フラクタルホスピタリティ株式会社（ホテルオペレーション） デューイ株式会社（不動産）

メディカル事業

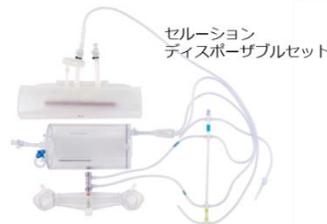
- ・医療機器の輸出入、販売
- ・脂肪組織由来再生（幹）細胞を用いた細胞治療の研究

セルーション 遠心分離器
一般医療機器・クラスI



医療機器製造販売届出番号：
13B1X1015500001

セルーション セルセラピーキット
高度管理医療機器・クラスIII



セレース（酵素）



医療機器製造販売承認番号：
23000BZX00357000

リアルアセット事業

- ・不動産の販売、賃貸、ファンド運営
- ・ホテル開発、ホテルオペレーション



Ⅱ. 2022年3月期2Q 決算概要

連結業績サマリー

ホテル事業の回復、メディカル事業の費用減少により、前年同期比で増収増益となり、売上高は26.5%増、営業損益は306百万円増となった。

[百万円]

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	増減額
売上高	528	668	140
営業利益	△566	△259	306
経常利益	△571	△237	333
親会社株主に帰属 する当期純利益	△119	△34	85

- セルーション遠心分離器およびセルーションセルセラピーキットの販売実績は前期を下回った。前年同四半期はサイトリ社を当社の完全子会社としたことに伴い、新株予約権に係る株式報酬費用221百万円が一過性の費用として発生したため営業利益を押し下げる要因となっていた。
- ホテル金沢では、新型コロナウイルス感染症の第5波の影響によりホテル稼働率が再び減少に転じ、売上高は低調に推移したものの、前年同四半期よりは回復しており、下半期にむけて回復の基調にある。
- 不動産部門では、軽井沢の保有土地売却および商業ビルの安定した賃料収入を計上。

セグメント別の売上高及び利益または損失

[百万円]

		2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	増減額	増減の主な要因
売上高	メディカル事業	147	100	△47	・セルーション遠心分離器およびセルーションセルセラピーキットの販売が前年を下回って推移
	リアルアセット事業	380	567	187	・新型コロナウイルス感染症の影響を引き続き大きく受けるも、ホテル金沢が回復基調にある ・テナントビルの安定的な賃料収入 ・軽井沢の販売用不動産売却
	ホテル	105	183	77	
	不動産	274	384	110	
	計	528	668	140	
営業利益	メディカル事業	△311	△105	205	・前期は新株予約権に係る株式報酬費用211百万円を計上したが今期はなし
	リアルアセット事業	△170	△151	18	・運営するホテルについては、雇用の維持を図りつつ、経費圧縮の徹底 ・テナントビルの安定的な賃料収入 ・軽井沢の販売用不動産売却
	ホテル	△276	△189	86	
	不動産	106	38	67	
		全社又は消去	△84	△5	78
	計	△566	△259	306	

2022年3月期 連結業績予想

2021年5月14日に公表した通期連結業績予想数値を据え置き。

- ・メディカル事業が前年度比+72%で増収を計画。不動産事業も増収、増益を計画。
- ・ホテル事業は新型コロナウイルス感染症の拡大が継続する、前年度比で回復を図るが赤字は継続。
- ・全体売上高は前年度比44%増の2,000百万円、経常利益は前年度比465百万円増の△280百万円。

	2022年3月期 通期予想	2022年3月期 2Q実績	進捗率	[百万円]
売上高	2,000	668	33.4%	
営業利益	△180	△259	－%	
経常利益	△280	△237	－%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	△165	△34	－%	

<事業計画>

- メディカル事業セグメントでは、セルーション遠心分離器およびセルーションセルセラピーキットの販売が下半期に回復する前提で売上高は前年度比+72%の増収となる計画。複数の治験費用、承認申請費用、国内製造拠点の構築費用等の先行費用が発生する計画となり営業損益は赤字を見込む。
- ホテル金沢株式会社単体の計画では、新型コロナウイルス感染症の影響が2021年秋頃まで継続、その後穏やかに回復していく中でホテル事業の売上高も徐々に回復していく想定。今期売上高は、前年度比で90%増、今期運営総利益は、前年度比で193百万円の増益を見込んでいる。
- 不動産事業は、保有資産の入れ替えにより開発物件から賃貸物件の比率を高めることで、売上高は前年並を見込んでいるが、営業損益は前年度比で127百万円の増益を見込んでいる。

Ⅲ. サイトリ社の事業進捗

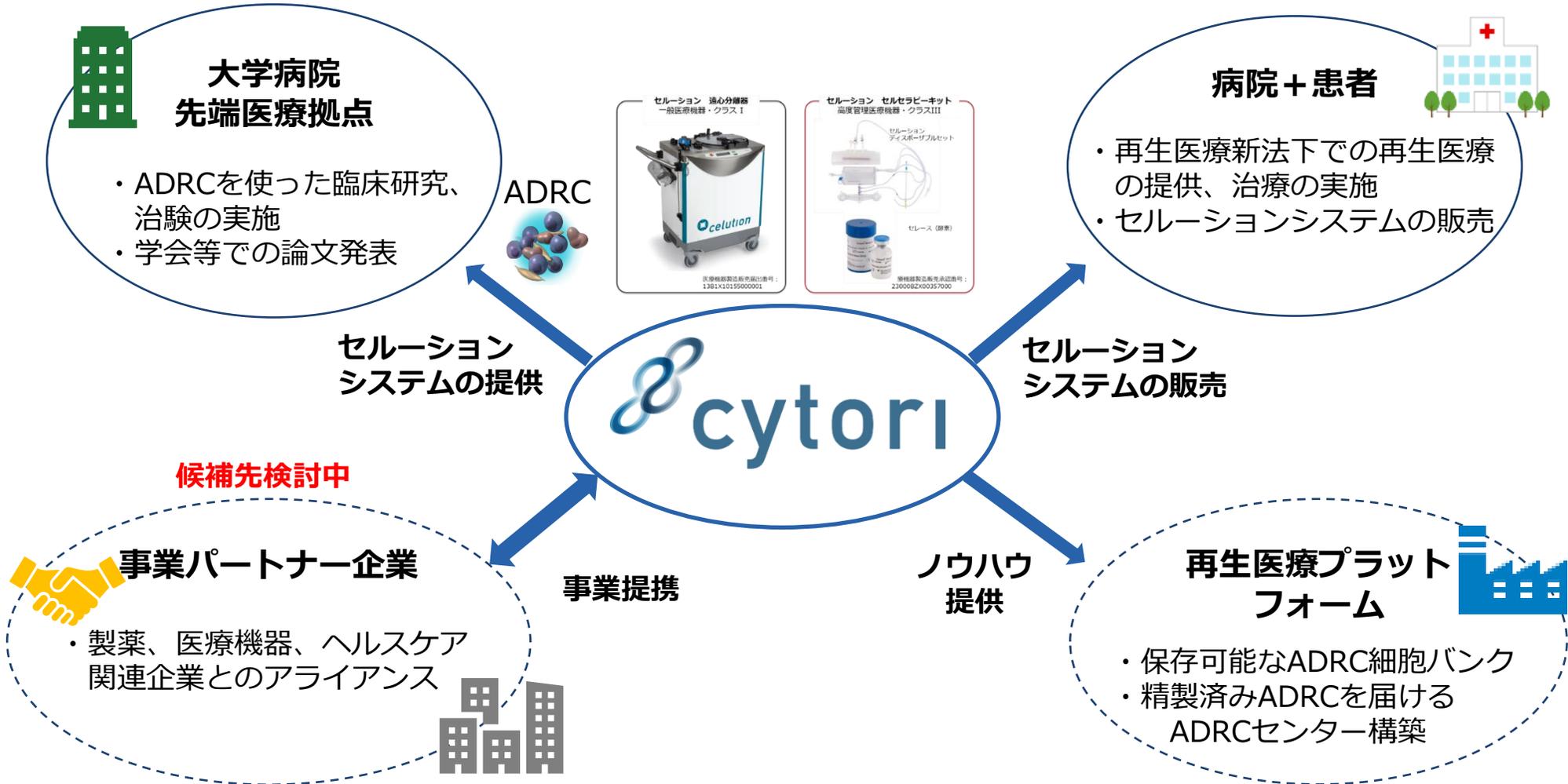
サイトリ社の会社概要

社名	サイトリ・セラピューティクス(株) (Cytori Therapeutics K.K.)
所在地	東京都千代田区大手町 1 - 1 - 1 大手町パークビルディング7F
代表者	代表取締役 白浜靖司郎 代表取締役 堀江聡寧 (FRACTALE(株) 代表取締役)
設立	2002年11月
決算日	12月31日
株主	FRACTALE株式会社 100%
事業内容	医療機器の製造・輸出入及び販売、医療機器の修理及び賃貸、幹細胞バンクシステムの導入・運用、 脂肪組織由来再生(幹)細胞を用いた細胞治療の研究

<会社沿革>	2012年9月	セルーション、セルセラピーキットの医療機器としての認可
	2018年11月	セルセラピーキットの高度管理医療機器（クラスⅢ）としての承認
	2019年4月	NASDAQ上場の米国Cytori社からマネジメントバイアウトにより日本法人化
	2019年11月	男性の腹圧性尿失禁に関する国内治験の終了（12月に製造販売承認申請の届出）
	2020年1月	疼痛・線維症の調節において脂肪組織由来細胞を使用する方法について特許登録
	2020年3月	肝硬変に関する国内治験の終了
	2020年7月	株式交換によるFRACTALE(株)の完全子会社化
	2021年3月	肝硬変に関する製造販売承認申請の届出
	2021年11月	肝硬変に関する国際特許を出願

サイトリ社のビジネスモデル

サイトリ社では、脂肪組織由来再生(幹)細胞 ADRCを活用し、再生医療が患者さんにとって低価格で身近な治療法となるように取り組んでおります。



国内治験の状況

日本発、世界初の国内治験が終了しており、製造販売承認、保険収載を目指しています。

国内治験終了（フェーズⅢ終了）

臨床研究

治験

製造販売
承認申請

保険収載

- **男性腹圧性尿失禁**

2015年5月～ 「男性腹圧性尿失禁に対する非培養自己ヒト皮下脂肪組織由来再生（幹）細胞の傍尿道注入治療の有効性及び安全性を検討する多施設共同非盲検非対照試験」（名古屋大学医学部附属病院、他3施設、全4施設）

2019年12月～ 製造販売承認申請中

- **肝硬変（非アルコール性脂肪肝炎）**

2017年3月～ 「肝硬変に対する自己皮下脂肪組織由来再生（幹）細胞の経肝動脈投与による肝再生療法の有効性及び安全性を検討する多施設共同非盲検非対照試験」（金沢大学医学部附属病院、大阪医科大学附属病院、全2施設）

2021年3月～ 製造販売承認申請中

豊富なパイプライン

海外治験、国内臨床研究に裏付けされたADRCの有効性と安全性データの活用

海外治験



- 乳房再建 : 欧州 (RESTORE-2)
- 急性心筋梗塞 : 欧州 (APOLLO) (ADVANCE)
- 慢性心筋虚血 : 米国 (ATHENA) (ATHENA II) 、 欧州 (PRECISE)
- ハムストリング断裂 : 米国 (RECOVER)
- 変形性膝関節症 : 米国 (ACT-OA)
- 強皮症 : 米国 (STAR)

国内臨床研究



- 重症虚血肢 : 名古屋大学医学部附属病院、信州大学医学部附属病院
- 虚血性心不全 : 金沢大学医薬保険研究域
- 乳房再建 : 鳥取大学医学部附属病院、湘南鎌倉総合病院
- 難治性皮膚癬 : 大阪大学医学部附属病院

他

肝硬変及び肝線維化の予防または治療における脂肪組織由来再生細胞に関する 国際特許を2021年11月に出願

サイトリ社が開発したセルーションセルセラピーキットと、セルーション遠心分離器を使い、患者の皮下脂肪組織から脂肪組織由来再生(幹)細胞 (ADRC) を抽出する画期的な細胞治療技術で、肝硬変および肝線維化の予防または治療における使用のための新規医薬組成物の創出に関しての国際特許を出願しました。

脂肪組織由来再生(幹)細胞 ADRCによる治療の流れ



IV. リアルアセット事業の進捗

ホテル金沢の会社概要

社名	ホテル金沢株式会社
所在地	石川県金沢市堀川新町1番1号（JR金沢駅より徒歩2分）
代表者	代表取締役 藤田 晃充 代表取締役 堀江聡寧（FRACTALE(株) 代表取締役）
設立	2000年9月（ホテル竣工 2008年4月）
資本金	90,000,000円
決算日	8月31日
株主	ホテルKANAZAWA合同会社 100%
従業員数	47名（他、パート24名）
事業内容	ホテル／レストラン／宴会・ブライダル事業



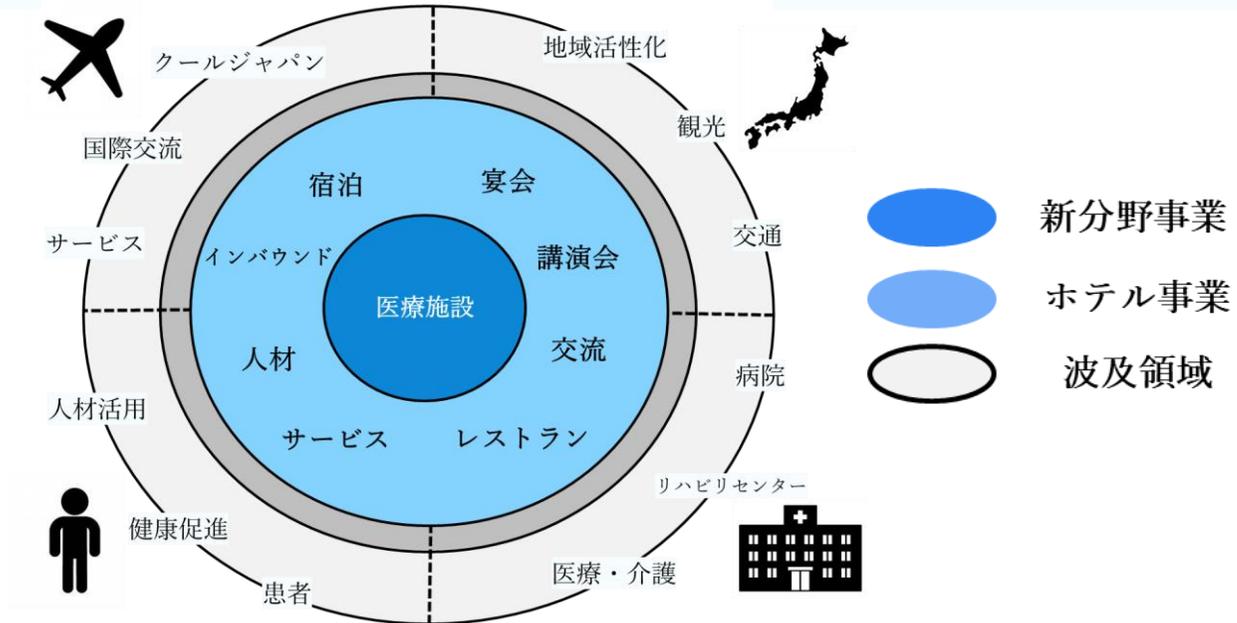
JR金沢駅東口ロータリーに面し、北陸新幹線改札出口から徒歩2分、金沢駅前のシンボルである鼓門を見渡すことのできるホテルとして、その立地の優位性を生かし、国内外の旅行客だけでなくビジネス利用客にも利便性を高く評価いただいております。

収容人数2,000人を誇る大宴会場をはじめ、大小11の宴会場・会議室及びチャペル、パーティールームを有し、小規模な家族宴会、大規模な各種学会にも対応できる石川県を代表するコンベンション施設の保有。

メディカルツーリズムへの展開

ホテル宴会場スペース等の有効活用、
一部の業態転換を目指す

メディカルツーリズムと
医療施設との波及効果を目指す



- ホテルの宿泊業と、再生医療を組み合わせた事業モデルで、“再生医療×宿泊をテーマとしたメディカルツーリズム”の事業展開を検討。サービス提供は2022年春頃からを予定。
- 日本の観光資源と、世界で最先端をいく日本の再生医療術を組み合わせた事業モデルが、ホテル業界においても競争優位性を築くことが可能
- サイトリ・セラピューティクス製品は、日帰りでの処理が可能な再生医療システムの特質を有していることから、再生医療施設を活用したメディカルツーリズムサービスの展開の検討が可能

- 本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料には、監査法人による監査を受けていない管理数値が含まれています。
- 本資料に含まれている今後の戦略、計画、将来の見通し、並びにその他将来の事象等に関する記載には、本資料の発表時点において合理的に入手可能な情報に基づく当社の仮定、見込み等が含まれます。その為、実際の業績、開発進捗等は、今後の研究開発の成否や将来における当局の対応、事業パートナーの状況等、現時点では不明又は未確定な原因によって、本資料の記載とは異なる結果となる可能性があります。
- 今後、新たな情報や将来の出来事等が発生した場合でも、当社は本資料に含まれる内容の更新、修正を行う義務を負うものではありません。

お問い合わせ先：当社ホームページIR問い合わせ
<https://frac-tale.co.jp/contact/>